

令和3年度一日教育委員会（教育懇談会）の参加者から寄せられた意見に対する県教育委員会の考えについて

今回の一日教育委員会（教育懇談会）では、様々なご意見をいただきありがとうございました。ご意見につきましては、今後の施策の参考にさせていただきます。

No.	参加者から寄せられた意見	県教育委員会の考え
【分科会1 郷土への愛情や誇りを育むための郷土学習の推進について】		
1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で地域の道祖神や神社、お祭りなどを知る機会をもう少し多くしてもらいたい。（小学生） ・外部の先生が学校に来てお祭りなどを伝えられるような時間をもっともらいたい。お祭りなどに詳しい人が話をしたり、太鼓を叩いたりするようなことを授業の中に取り入れていけばいいのではないか。（一般） ・地域のお祭りや行事をただ形式的に学ぶだけではなく、お祭りや行事をする意味等を学んだ方が学習が深くなる。（小学生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の道祖神やお祭りなどを知る機会を増やして欲しいという意見があったことを市町村教育委員会に伝えるとともに、県の「いきいき教育地域人材活用推進事業」を積極的に活用し、地域の人に関わることでできる学習が進められるよう有効活用している事例を市町村教育委員会を通じて周知して参ります。 【現状について】 ・学校では、生活科や3年生の社会科、総合的な学習の時間において、地域探検や地域の調べ学習を通して、道祖神や神社、お祭りなど地域の文化や伝統に関する学習を行っています。また、お祭りや行事の意味を考える機会が持てるように、県教育委員会で作成した「ふるさと山梨」や「ふるさとかるた」の積極的な活用を研修会等を通じて学校等に促しています。
1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の授業でSDGsの授業があまりないのでもっと増やした方がよい。（小学生） ・今こういう問題に陥っていてこのままだと社会が将来良くない方向に行ってしまうからSDGsを学ぶということを知る機会を増やしていただきたい。（高校生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて学ぶことは、これからの社会を担う子供たちにとって大切なことです。SDGsのことを学べる機会を増やして欲しいといった意見があったことを市町村教育委員会や県立学校に伝えて参ります。 【現状について】 ・小中学校では、環境問題の解決のために自分たちができることに取り組んだり、安心して暮らせる地域づくりについて考えたりなど、環境や福祉といったSDGsの視点から、現代の横断的・総合的な課題について探究的に学ぶ取り組みが行われています。 ・高等学校の各教科では環境や人権などSDGsの視点にたった授業や、インターンシップを通じてSDGsについて考える学習を進めています。

令和3年度一日教育委員会（教育懇談会）の参加者から寄せられた意見に対する県教育委員会の考えについて

今回の一日教育委員会（教育懇談会）では、様々なご意見をいただきありがとうございました。ご意見につきましては、今後の施策の参考にさせていただきます。

No.	参加者から寄せられた意見	県教育委員会の考え
1-3	・総合的な学習の時間は、机上の学習だけでなく、現地に行き問題等を自分事として実感できる仕組みの学習にしていけるとよい。 (小学生)	・いただいたご意見について市町村教育委員会に伝えて参ります。
1-4	・（高等学校の授業）外部講師は表面的なことではなく本質的なところをしっかりと伝えられる人を講師に選んでいただきたい。（一般）	・講演会や授業の外部講師については、適切な講師の選定ができるよう教頭会やキャリア担当者会議等を通じて情報提供をして参ります。
【分科会2 地域との連携について】		
2-1	・学校の統廃合によって学区が広域的に整理された後の地域学習においても、子どもが住んでいる（学校から離れた）地域についても学べるよう工夫が必要である。（一般・保護者）	・地域に関する学習においては、学区全体等に地域を広く捉えて、学習が深められるように工夫することについて、研修会等を通じて学校等に伝えて参ります。
2-2	・学校と地域が連携するための窓口を用意しておけば、ネットワークがどんどん広がり、キャリア教育的な視点で学びが展開できると思う。（一般・教員）	・現在、コミュニティ・スクールの推進が国の主導で進められており、県教育委員会もコミュニティ・スクールの設置を推進し、地域と連携した充実した活動が進められるよう市町村教育委員会や県立学校に働きかけて参ります。 【現状について】 ・小中学校には、地域と連絡調整をする担当が、高等学校にはキャリア事業担当等の教員がおかれており、この担当を中心に地域と連携した取組が進められているところです。
2-3	・小学校低学年、中学年、高学年と中学校で成長のステージに合わせた歯科保健指導の授業がある市町村とない市町村がある。市町村によって保健教育に格差があることを危惧している。市町村間で保健教育の格差がない方がよい。（一般・歯科衛生士）	・今後保健教育等の研修会を通じて取組の好事例等を各学校に紹介し、保健教育の充実に努めて参ります。 【現状について】 ・各学校の保健教育は、各教科や特別活動など学校教育全体を通じて行うとともに、各学校の健康に関する課題に応じて取り組んでいます。

令和3年度一日教育委員会（教育懇談会）の参加者から寄せられた意見に対する県教育委員会の考えについて

今回の一日教育委員会（教育懇談会）では、様々なご意見をいただきありがとうございました。ご意見につきましては、今後の施策の参考にさせていただきます。

No.	参加者から寄せられた意見	県教育委員会の考え
2-4	<p>・部活動の外部人材の登用について、長い目で見たら30代、40代より若い人を入れ込まないといけないのかなと思うのでもっとPRを。（一般）</p>	<p>・今後県では、外部指導者に関する情報などについてホームページの充実を図るとともに、県内の学生等若い世代から協力が得られるよう、大学等と連携を図りながら、「部活動指導員任用事業」や「運動部活動外部指導者派遣事業」の概要などを周知して参ります。</p> <p>【現状について】</p> <p>・部活動における外部人材の活用については、「部活動指導員任用事業」や「運動部活動外部指導者派遣事業」において、これらの事業を希望する学校等が任用条件を踏まえたうえで指導者を確保しています。</p>
2-5	<p>・市町村によって高校入試の目安のテストが異なる実状があるので疑問がある。（中学生）</p>	<p>・いただいたご意見について市町村教育委員会に伝えて参ります。</p> <p>【現状について】</p> <p>・各市町村で実施している中学校3年生を対象とした進路指導の参考となる試験については、各市町村教育委員会が判断しています。</p>